

① 課題認識

商号又は名称

ひきこもりに関する諸問題について、特に進路未決の中学校・高校卒業者や中退者等、若年期への支援に関して、課題とこれからの支援がどうあるべきか具体的に記載してください。また、このような課題を踏まえたうえでひきこもり支援センターをどのように運営するのか方針及び取組などについて記載してください。

②熊本市ひきこもり支援センター事業の職員配置計画

商号又は名称

	氏 名 □常勤職員 □非常勤職員 (非常勤の場合は週当たりの労働時間を記載すること)	担当（担当業務に☑を記入）	関係する学歴・職歴等	関係する取得資格等 (取得年月日)	ひきこもり対象者に関する経験年数又は関係する取得資格等に関する経験年数 (事業名・職種・職務内容)
1	□常勤職員	管理責任者 1 □相 談 2 □連 携 3 □普及啓発 4 □養成等 5 □その他			
2	□常勤職員	1 □相 談 2 □連 携 3 □普及啓発 4 □養成等 5 □その他			
3	□常勤職員 □非常勤職員 (時間)	1 □相 談 2 □連 携 3 □普及啓発 4 □養成等 5 □その他			
4	□常勤職員 □非常勤職員 (時間)	1 □相 談 2 □連 携 3 □普及啓発 4 □養成等 5 □その他			
5	□常勤職員 □非常勤職員 (時間)	1 □相 談 2 □連 携 3 □普及啓発 4 □養成等 5 □その他			

記載日 令和 年 月 日

<記載上の注意>

※常勤職員とは、他の施設等の職務に従事しない者でかつ、週38.75時間以上勤務する者。

※担当業務の詳細は次のとおり。(担当を兼務する場合は、複数に☑を記入すること。)

- 1 ☐ 相談・・・相談対応及び支援
- 2 ☐ 連携・・・関係機関との連携
- 3 ☐ 普及啓発・・・普及啓発
- 4 ☐ 養成等・・・ひきこもりサポーター養成・派遣業務
- 5 ☐ その他・・・その他のひきこもり対策推進事業

※各種経歴は、それぞれの経歴ごとに経験年数を何年何ヶ月単位で明記すること。また、経験年数は令和7年(2025年)12月末現在で記載すること。

※管理責任者の場合は、ひきこもり対象者に関する管理責任者としての経験年数及び内容、並びに、管理責任者以外での経験年数及び内容を記入すること。

※職員配置が3名以下の場合は失格となるので注意すること。

※欄が不足する場合は、適宜追紙すること。

③ センター業務の事業計画

ア 相談対応及び支援

基本仕様書で示した内容について、電話・来所・出張・訪問等それぞれを具体的に記載してください。また、ひきこもりが長期化しているケースへの対応及び支援のあり方、支援の終結が考えられる状態についてご記載ください。

様式第 8 号－③

イ 関係機関との連携

総合的な支援を行うにはどのような機関との連携が必要か、また、公式な会議に加え、日頃の連携の中で効果的なケース対応につながるような連携策についても記載してください。

さらに、ひきこもりの方が就労を望んだ場合、支援に当たってどのような連携が考えられるかを記載してください。

様式第 8 号－③

ウ 普及啓発

ひきこもりは、長期的に支援につながりにくく、つながった後も長期的な支援が必要となる。そのため、市民や支援者への普及啓発は必須である。

それを踏まえて、市民向け、支援者向けの視点で「年間実施スケジュール」、「研修等の内容・予定対象者の種別、人数」、「SNS を活用した情報発信」を具体的に記載してください。

様式第8号ー③

エ ひきこもりサポーター養成・派遣

ひきこもりの支援には回復者の立場としてピアサポーターの活用が有効と思われる。

そこで、「養成研修」、「派遣事業」について、実効性のある内容を具体的に記載してください。また、ひきこもりピアサポーターを今後どのように活用していくかについて記載してください。

様式第8号ー③

オ その他ひきこもり対策推進事業

「ひきこもり家族教室」、「ひきこもり当事者プログラム」、「就労支援」の内容を具体的に
記載してください。

様式第8号－④

④ その他の提案

基本仕様書以外で提案があれば内容を具体的に記載してください。